

中部横断自動車道（新清水 JCT～増穂 IC 間）連絡調整会議（第 3 回）
議事概要

1. 日時

平成 30 年 7 月 5 日（木） 10:00～11:00

2. 出席者

山梨県 県土整備部長	垣下 禎裕
静岡県 交通基盤部長	平野 忠幸（代理）
静岡市 建設局長	伊東 正高（代理）
南部町 建設課長	若林 邦治
身延町 建設課長	水上 武正
早川町 振興課長	藤本 法仁
市川三郷町 土木整備課長	塩澤 正也
富士川町 都市整備課長	志村 正史
国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所 事務所長	尾松 智
国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所 事務所長	隅蔵 雄一郎（代理）
中日本高速道路株式会社東京支社 南アルプス工事事務所 事務所長	土屋 俊幸
中日本高速道路株式会社東京支社 清水工事事務所 事務所長	名井 乃

3. 議事

(1) 工事の進捗状況、開通見通しについて (2) 意見交換

4. 議事概要

(事業者より説明)

○六郷 IC～増穂 IC は昨年 3 月 19 日に開通。

○風化しやすい泥岩が出現するなど、脆い地山でトンネル工事が難航していた新清水 JCT～六郷 IC 間においては、第 2 回連絡調整会議（H28 年 11 月）以降も、新たな断層破碎帯の確認、脆い地山の出現割合が想定以上に高いこと、掘削後の内空変形の継続など、引き続き、さまざまな難航事象が発生しており、安全に配慮しつつ工事を推進してきたところ。

○新清水 JCT～富沢 IC、下部温泉早川 IC～六郷 IC については、トンネル設備工事、舗装工事等も概ね発注済みであり、平成 30 年度の開通に向け、引き続き工事を推進。

○南部 IC～下部温泉早川 IC については、想定以上に工事が難航する中、未だトンネル掘削などの工事が残されている状況であり、引き続き、安全に配慮しつつ工事を推進。

○富沢 IC～南部 IC についても、想定以上に工事が難航する中、トンネル本体工事は完了の見通しが立ったことから、平成 31 年夏頃の開通となる見込み。

○また、難航事象への対策のため、追加費用が発生しており、富沢 IC～南部 IC 及び下部温泉早川 IC～六郷 IC については、トンネル本体工事完了の見通しがたったことから、事業評価監視委員会にて審議する。

(意見交換)

○山梨県より、若干開通が遅延する区間もあるが、想定以上に難航するなか、工事が進められていることについて理解した。引き続き、早期開通に向けて、安全に留意しつつ、工事推進をお願いする旨の意見あり。

○県並びに沿線自治体より、新清水 JCT～六郷 IC 間の一日でも早い開通を望むとともに、引き続き、種々の課題を関係者と共有しつつ、掘削土の仮置き場の確保、工事用車両の通行に伴う地元調整など、地元として協力していく旨を表明。